

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601218
事業所名	グループホーム しらゆり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 毎日午前と午後散歩に出かけており、地域のひと顔見知りとなり会話することが増え自治会の行事など教えてもらえることで行事の参加が増えている。地域のボランティアの受け入れも少しづつは増えている。また、中学生の職場体験の受け入れをしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年6回開催している。今年は地域包括支援センター職員が参加しているが、地域住民代表や民生委員の参加が少ない。会議の中で「外出を増やしては」と提案があり、体力低下予防のために散歩や買い物など外出する機会を増やして歩いている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 区役所や市役所主催の研修には職員は参加している。提出書類などで分らない時には電話などで相談や助言をもらっている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会を9月に行っている。また、家族には電話で利用者の状態変化や日常の様子をこまめに報告している。また、不定期だが、日常の様子がわかる便りも送付している。「たくあんが食べたい」などちょっとした個人的なものだが、職員間で話し合い食卓に上がるように改善している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

